

# 新人ナース Diary 第2回



## はじめての夜勤 深夜編

7階病棟



野村 陸至



堂田 遥

夜になり患者さんが寝始めて落ち着いている反面、何かあると少ない人員で対処していかなければいけないので、どれだけ病棟が落ち着いていても気を抜けないイメージがありました。

今までの夜勤のイメージは . . .

患者さんが寝ているので静かで点滴などの処置も少なく、日勤に比べると楽なイメージがありました。

深夜で眠くならないように寝ないと、と焦っていました。初めての深夜で緊張もあり全く眠れなかったです。

はじめての夜勤の前は . . .

日勤からの深夜であったので何とか休もうと必死でした。また、家に帰っても落ち着かず何度もマニュアルを見直すなどしてとても緊張していました。

初めての深夜で驚いたことは、日勤帯ではベッド上で過ごされる患者さんなのに患者さん1人だけで車椅子に乗っていたことです。昼の病棟と違ってスタッフの数も少なく、全ての患者さんを同時に見ることはできません。だからこそ、センサーが鳴ったらすぐに対応するなど1人1人の役割を果たさなければいけないと思いました。また昼夜逆転している患者さんがいて、静かなイメージとは違っていました。

夜の病棟では . . .

日勤とは違いほとんどの患者さんは寝られているので、職員は物音をたてずに動く必要があり、日勤とは違った緊張感がありました。また、少ない人数で業務を行っていくので、日勤と比べいかに効率よく業務をこなしていくことが大切か痛感させられました。とりわけ、朝方は大変でバイタル測定や点滴、血糖測定などやるべきことが多くあり、想像絶する大変さでしたが、やりきった時はとても達成感がありました。

看護師になって4カ月、今後の抱負 . . .

少しずつですが業務でできることが増えてきました。先輩方に迷惑をかけることもたくさんありますが日々成長して1人の看護師として自立できるように頑張ります！！

患者受け持ちにも徐々に慣れてきて、できる業務も増えてきましたが、まだ自分のことで精一杯で周りが見えなくなってしまうことがあります。業務に慣れもっと周りを見る余裕ができるように頑張っていこうと思います。

フォローの先輩には毎日迷惑をかけてばかりで本当に申し訳なく思いますが、一人前の看護師になれるように精一杯頑張ります。

